

クルーズアシスト2 取り扱い説明書

CRUISE ASSIST 2

COMFORT LINE

この度は弊社製品クルーズアシスト2をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。
 車に装備されているクルーズコントロールの一部機能をアクセルワークに連動させて自動化する製品です。
 本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
 取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合は当社ホームページ上の取り扱い説明書をダウンロードして取り付け、調整をおこなって下さい。

⚠ 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 本製品は車両のクルーズコントロールを補助する製品です。本機能を過信せずドライバーの自己責任にてご使用下さい。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品はクルーズコントロールの制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合が考えられます。取り付け、使用には十分慎重に取り扱して下さい。なお、何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えません。

⚠ 注意 または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこない専門の業者に必ず依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温もしくは水のかかる場所に設置しないで下さい。また製品を落下させたり衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 電子制御に関わる部分です。接続位置、接触不良が無いように慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

⚠ 注意

- クルーズコントロールの操作、動作条件は車両により異なります。**
 取り付ける車両のクルーズコントロール操作方法を十分に理解したうえで、本製品をご使用下さい。
- 後付け、社外品のクルーズコントロールには使用出来ません。取り付けは純正クルーズコントロール装備車に限りです。**

●製品の特長

- 純正クルーズコントロール使用時のいくつかの手動操作を自動化し、純正クルーズコントロールをより快適にします。クルーズアシスト2を使用することにより不要な加速、減速が減り燃費も向上します。
- 完全カプラーオンで装着可能です。

●付属品

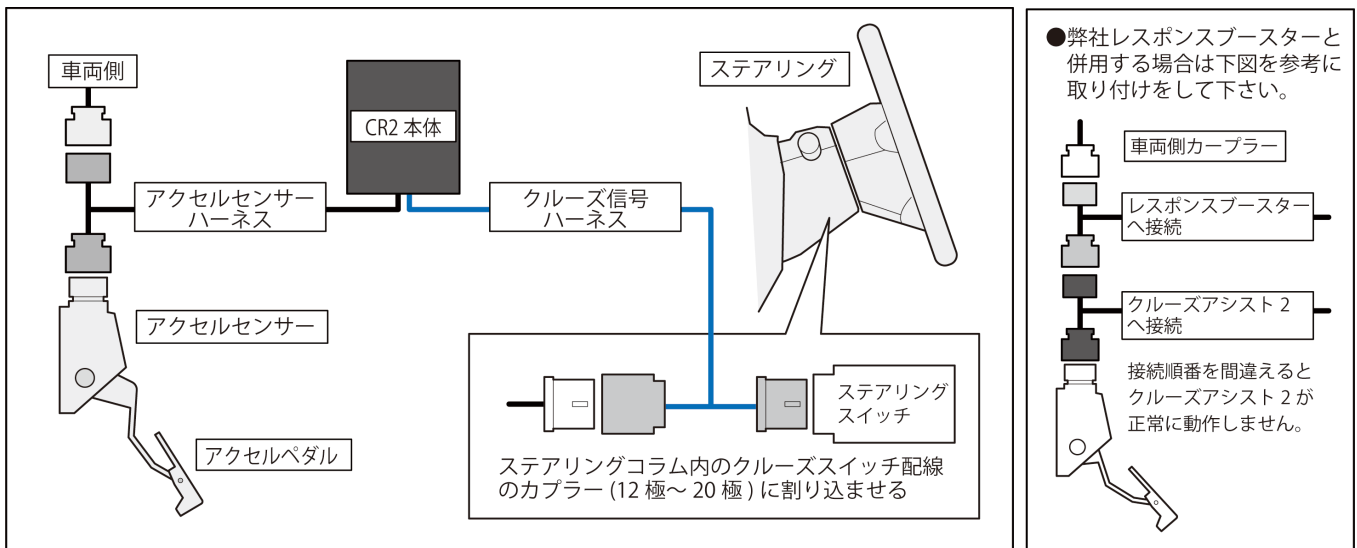
- クルーズアシスト2(CR2)本体×1 (アクセルセンサーハーネス、クルーズ信号ハーネス付属)
- タイラップ(小)×4 ●両面テープ(大)×1

●取り付け方法



- エンジンを停止させ、エンジンキーを抜いてから10分間以上たってから作業をおこなって下さい。**
 ※車両のECU電源が完全にOFFになる前に作業をおこなってしまった場合エンジンチェックが点灯してしまいます。
- 取り付け作業はバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外すとアイドリング学習、その他設定が必要になります。
- 車両のクルーズ制御に関わる部分になるため、取り付けの際に接続位置を間違えたり、ショートさせないよう慎重に作業して下さい。
- 接触不良がある場合、正常にエンジンが吹き上がらない、チェックランプ点灯します。その場合はディーラーの診断機でしかチェックランプを消すことができない場合もあるため、慎重に作業を行ってください。

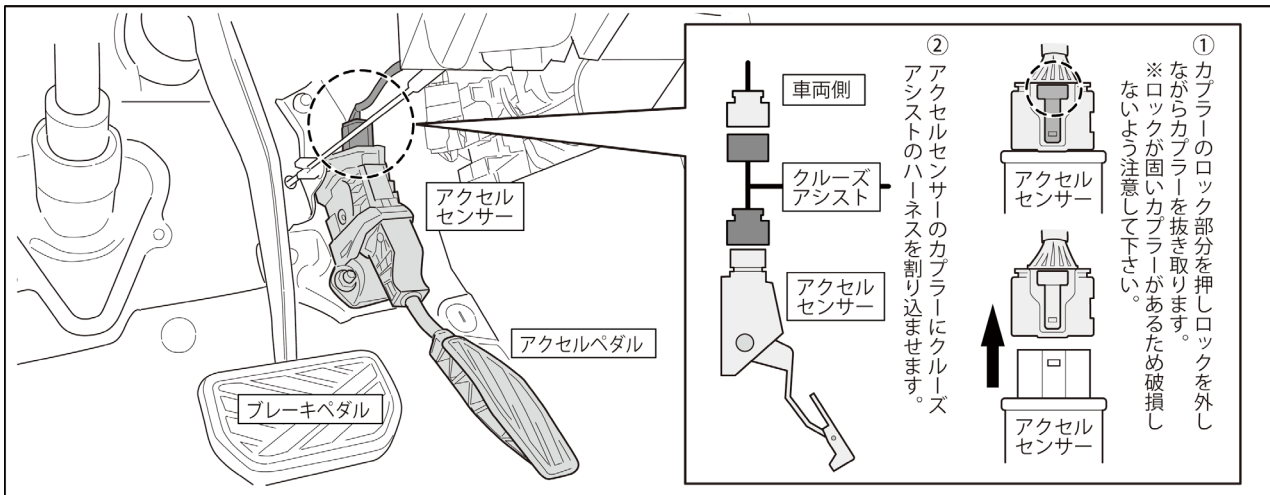
1. 配線図



⚠ 注意

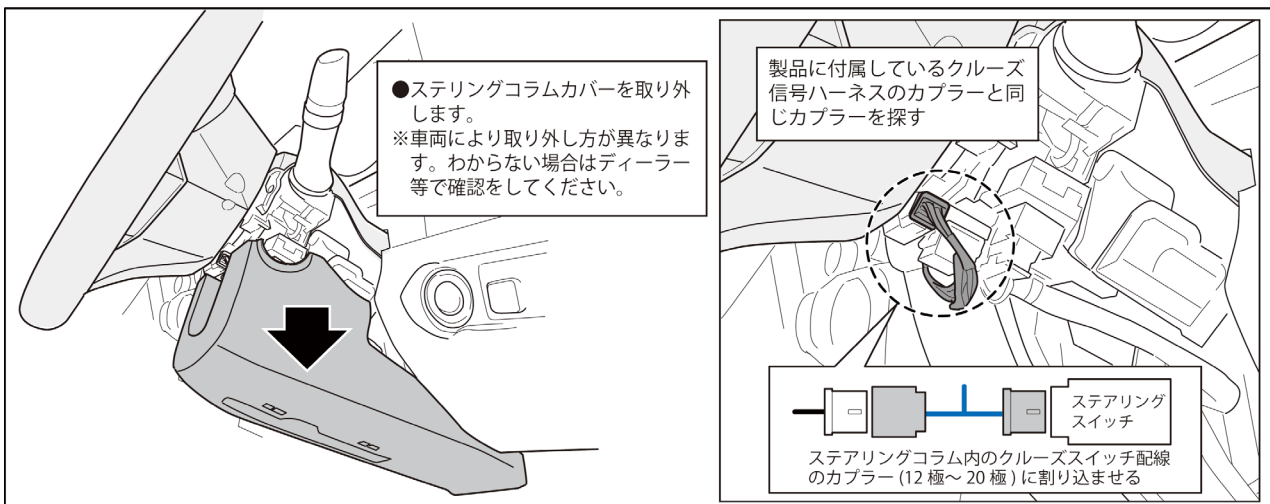
他社製スロコンとは動作確認をしていません。不具合の可能性があるので他社製スロコンとは併用しないで下さい。

1. アクセルセンサーハーネスの取り付け方法



1. アクセルペダルの先にあるアクセルセンサーに接続されているケーブルを取り外します。
 ※足元のパネルでアクセルセンサーにアクセスできない場合はパネルを取り外してから作業をして下さい。
 ※ロックが固いケーブルがあります。無理に取り外して破損しないよう注意して下さい。
2. 取り外したケーブルにクルーズアシスト2のアクセルセンサーを割り込ませて下さい。
 ※ケーブルの挿し込みがあまりと信号の断線が起きエンジンチェックや正常に走行できない場合があります。慎重に作業をしてください。

2. クルーズ信号ハーネスの接続方法



1. ステアリングコラムカバーを取り外します。
 ※車両により取り外し方が異なります。わからない場合はディーラー等で確認をしてください。
2. 付属のクルーズ信号ハーネスのケーブルと同じケーブルを抜き、クルーズ信号ハーネスを割り込ませます。
 ※製品品番によりケーブルの極数が違います。付属のケーブルと同じケーブルを探してください。(12極～20極 白色または黒色のケーブル)

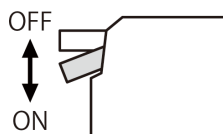
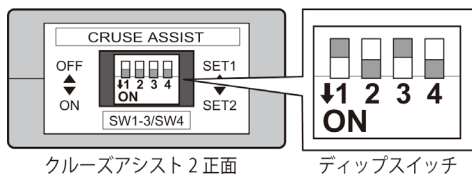
3. 本体ユニット固定

1. 接続後に本体を運転の妨げにならない場所に付属の両面テープで固定し、配線をタイラップでまとめます。
 ※下記「設定方法」を確認して設定を行ってから本体を固定して下さい。
 ※本製品は非防水です。水がかからない場所に設置して下さい。

●設定方法

1. 本体ディップスイッチ(DPSW)の設定

- 下記の表を参考に必要に応じてDPSWの設定をして下さい。



スイッチを下げるとONになります。

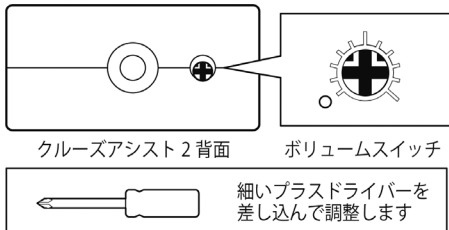
※設定変更はエンジン停止中に行ってください。
 走行中の変更は事故の危険があります。

スイッチNO	初期設定	役割	概要
DPSW 1	OFF	自動スタンバイモード	エンジン始動時に自動的にクルーズをスタンバイ(待機)モードにします。 ※使用できる車種は適合表にて確認して下さい。 ※他の人が運転することがある場合は危険ですので使用しないで下さい。
DPSW 2	ON	リカバリーモード	クルーズコントロール走行中にブレーキ操作でクルーズがキャンセルされた場合にアクセル開度に応じてクルーズ状態を復帰させるモードです。
DPSW 3	OFF	-	必ずOFF状態にて使用して下さい。
DPSW 4	ON	特性選択	スバル車以外はONにて使用して下さい。スバル車はOFFにて使用。

※自動スタンバイモードはトヨタ、レクサス、スズキ、ダイハツ車のみ可能です。

2. 本体ボリュームスイッチの設定

●クルーズアシストのリカバリーモードが動作タイミングを調整します。

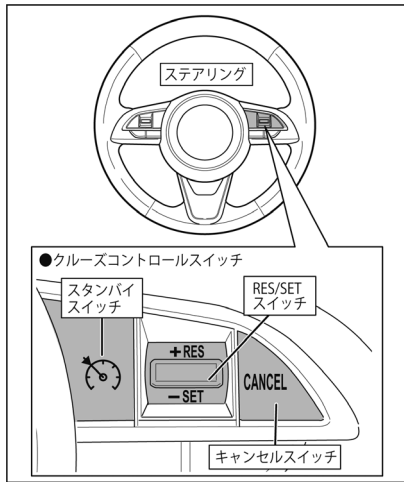


全車速追従型(ACC)搭載車	定速クルーズ搭載車(非追尾型)
ボリュームを右方向いっぱいに戻して下さい(時計方向)	ボリュームを左方向いっぱいに戻して下さい(反時計方向)

ボリュームを左に回すと少ないアクセル開度でクルーズが復帰し、右に回すとよりアクセルを多めに踏まないで復帰しなくなります。変更したほうが快適に使用できる場合は調整して下さい。

3 クルーズアシストの制御概略

●クルーズアシストの概略です。左図の一般的な操作から右図の部分が自動化されます。



一般的なクルーズの操作方法

- クルーズのスタンバイスイッチを押すとスタンバイモードON(クルーズ待機)
- 任意の車速で【SET】スイッチを押す
クルーズ開始
- ブレーキを踏んで停止
クルーズ停止
- 【RES】または【SET】スイッチを押す
クルーズ再開

クルーズアシスト2を装着した場合

- 自動スタンバイモード使用**
エンジン始動時に自動でスタンバイモードON(一部車種のみ可能)
- リカバリーモード使用**
アクセルを約15~25%以上踏むことによりクルーズが自動復帰

※自動スタンバイモードはトヨタ、レクサス、スズキ、ダイハツ車のみ可能です。
※自動スタンバイモードは他の人が運転することがある場合は危険ですので使用しないで下さい。

●使用方法

重要 クルーズコントロールの操作、動作条件は車両により異なります。
取り付ける車両のクルーズコントロール操作方法を十分に理解したうえで、本製品をご使用下さい。

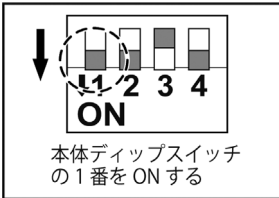
<p>スタンバイスイッチを押す</p> <p>+RES -SET CANCEL</p> <p>※車両により名称/位置は異なります。 メーターパネル内</p>	<p>12:00 30℃</p> <p>メーターパネル内にクルーズの待機ランプが点灯</p> <p>※車両により待機/動作のランプ表記は異なります</p> <p>D 100.0 km 1000 km</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10</p> <p>F</p> <p>1 エンジン始動後に車両のスタンバイスイッチ(名称はメーカーごとに異なります)を押すとメーターパネル内にクルーズコントロールのスタンバイ(待機)ランプが点灯します。</p>
<p>アクセルを15%~25%踏み込む</p> <p>12:00 30℃</p> <p>SET 60 km/h</p> <p>メーターパネル内</p> <p>アクセルを踏んだ2秒後の速度でクルーズがセットされます</p> <p>※必要に応じて-/+スイッチで速度設定を直して下さい</p>	<p>2 クルーズコントロールがスタンバイ後にアクセルを15%~25%以上踏むとクルーズコントロールがセットされます。</p> <p>※必要に応じて車両の-/+スイッチで速度を再設定して下さい。</p> <p>※車両によりクルーズセットの最低車速があります。それ以下の速度だとクルーズがセットされません。</p>
<p>ブレーキを踏んで停車する</p> <p>12:00 30℃</p> <p>メーターパネル内</p> <p>クルーズが停止しクルーズ待機中の表示に変化</p>	<p>3 クルーズコントロール走行中にブレーキを踏むとクルーズコントロールは停止します。</p>
<p>アクセルを15%~25%踏み込む</p> <p>12:00 30℃</p> <p>SET 60 km/h</p> <p>メーターパネル内</p> <p>アクセルを踏んだ2秒後の速度でクルーズがセットされます</p> <p>※車両により速度が遅すぎるとクルーズが動作しない場合があります</p>	<p>4 再度アクセルを15%~25%以上踏み込むとクルーズコントロールが自動復帰します。</p>

●自動スタンバイモードの設定方法

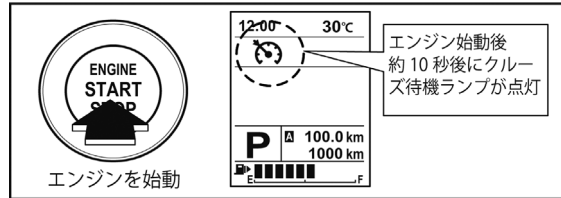
クルーズアシスト2の設定を変更することにより、エンジン始動後に自動でスタンバイ状態にします。

クルーズコントロールを常用している場合には便利な機能です。

※自動スタンバイモードはトヨタ、レクサス、ダイハツ、スズキ車にて使用出来ます。適合表でご確認ください。



本体ディップスイッチの1番をONにする。



エンジン始動後、約10秒でクルーズコントロールがスタンバイモード(待機)になります。

※クルーズを一旦解除する場合は通常通りスタンバイボタンやキャンセルを押してクルーズを解除して下さい。

※自動スタンバイモードをキャンセルしたい時は本体ディップスイッチ1番をOFFにして下さい。

●トラブルチェック



走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止してしばらくしてからノーマル状態にして再始動させて下さい。

【エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない】

- エンジンをオフにしても数分～10分程度、ECUやセンサーの電源が落ちない車両があります。その場合、電源が落ちる前にカプラーを抜くと信号断線のエラー感知してエンジンチェックが点灯します。
- クルーズアシスト2本体のディップスイッチを確認して下さい。
- カプラーが確実に取り付けできているか確認して下さい。

【点灯したチェックランプを消す方法】

- 正常な状態で【エンジン始動】⇔【1分間エンジン停止】を3～5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断しエンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエラー消去して下さい。